

小学校5・6年生への市立図書館利用者カードの発行結果について

1 目的

子どもの読書量は、年齢が上がるにつれて低下する傾向が見られるため、中学生や高校生の読書離れに向けた取組のひとつとして、小学校5・6年生の児童へ市立図書館利用者カードを学校を通して発行し、幅広く本に触れる機会を促すことで、小学校高学年からの読書活動推進を図る。

※ 一カ月に1冊も本を読まない児童の割合(沼津市の小学校5・6年生) 5.1%

(令和3年実施 読書に関するwebアンケート調査)

2 事業概要

小学校5・6年生の希望者に対し、タブレット(クロームブック)から専用の市立図書館利用者カード申込フォームへ申込をしてもらい、夏休み前に利用者カードを発行した。

3 内容説明

- ・ この取り組みで、新たに17校257名の児童に利用者カードを発行した。割合としては、小学校5・6年生の約1割に当たる。
- ・ 7月末現在で利用者カードを有している小学生は、全体の57.1%となった。
- ・ 夏休みのイベントで、図書館の仕事体験を行うなど、子どもに図書館に興味を喚起するような取組を引き続き実施する。
- ・ 一方、住居が市立図書館や地区センター図書室から遠い児童は、利用者カードの登録が少ない傾向があるが、沼津市の児童は、タブレット(クロームブック)のトップ画面からぬまづ電子図書館にアクセスでき、いつでもどこでも読書ができる環境があるため、紙の本と合わせた活用を進める。
- ・ 市立図書館では、次年度も同様の取り組みを継続していく予定。